

アキラNEWS

仕事に少し関係のあることから、まったく関係のないことまであなたにお届けします

今月のトピック

- ◆ 社長のひと一言
- ◆ 土曜日営業・休業案内
- ◆ 子供に「ちょっと待って」と言っはいけない理由
- ◆ クイズが大好きな国民



社長のひと一言

アンケートは全部で10の問いがありました。方向指示器を出さずに車線変更や右左折する車が多いや「前方の信号が青に変わる前に発信する車が多い」、「運転中に携帯電話を使用しているドライバーが多い」という問いに対して「多い」と回答する人の割合が多かったそうです。私もそういったドライバーを見た経験があります、いずれも事故につながる行為ですよね。

秋の全国交通安全運動が9月21日から始まります。交通事故の発生件数は年々減っているとはいえ、自身が原因の事故は起こさないのが我々社会人としての大事な役割の一つです。当社も日々、配達や営業で車を利用して。安全運転を心がけ、業務に取り組んでおります。当たり前を当たり前に。

北陸では、9位 福井県(58%)、11位 石川県(50%)、そして23位 富山県(37%)。因みに、「悪い」と答えた比率の低い県は、46位 岩手県(18%)、47位 島根県(16%)という結果が出ました。

A:「悪い」、「とても悪い」と回答した比率の順位
 1位 香川県(80%) 2位 徳島県(73%)
 3位 茨城県(67%)

Q:あなたのお住いの都道府県の全般的な交通マナーについて、どう思いますか?

今年の6月に「交通マナー」に関するアンケートが全国の自動車ユーザー約六万五千人を対象に実施されました。

朝晩と日中の気温差に秋の気配を感じるようになりました。突然ですが、あなたは車の運転に自信がありますか? 私は運転がうまくないので、安全運転しているつもりです。

「当たり前を当たり前に」



山本 利太郎

土曜日営業・休業案内

- 10/1 (土)・・・**完全休業**
- 10/8 (土)・・・AMお引取のみ
- 10/15 (土)・・・**完全休業**(棚卸)
- 10/22 (土)・・・**完全休業**(第4土曜日)
- 10/29 (土)・・・**完全休業**(第5土曜日)

- ・第3土曜日は通常営業
 - ・第4、5土曜日は完全休業。
 - ・その他土曜日は半日当番。
- (その月によって例外もあります)

子供に「ちょっと待って」と言っではいけない理由

あ なたは子供に一日何回「ちょっと待って」と言いますか？ 私には、7歳、5歳、3歳の娘がいます。小さなお子様をお持ちのあなたならわかってもらえるのではと思いますが「ちょっと待って」は我が家の流行語大賞にノミネートされるんじゃないかっていうくらいよく使います(笑)。でも、子供に「ちょっと待って」って言っても素直に待ってくれることってほとんどないですか？

いつだったかは忘れましたが、TVカラジオでこんなことを聞きました。子供にとって「ちょっと待って」は永遠に感じると。(確か、ラジオのテレフォン人生相談の大原敬子さん、だった様な・・・)。「確かにね～、でも待つて欲しいときはなんていうの？」なんて思いながら聞いてました。ズバリ、子供に待つて欲しいときは「30秒数えて待つて」と言うんです。具体的にどれくらい待たなければならないのかを教えることが大切なのです。確かに、思い切って告白した女性に「ちょっと待って」って言われたら困りますよね。「どれくらい待てばいい？」ってなりますよね(笑)。

実験台には事欠かない私は早速その「30秒テクニック」を試してみました。驚愕の結果です。待つんです。子供達は楽しそうに「30秒」数えて待つのです。「どうだ、わたし30秒数えられるげんよ」のドヤ顔付で(笑)。ですが、ここで一つの疑問がありますよね。「たった30秒待つてもらっても時間が足りませんよ～」と言う疑問が。大丈夫です。もう30秒数えてもらうんです。「30秒」を何セットでもやるんです。子供はこういう単純なことをエンドレスにやるプロですからね(笑)そして「すごいね～、30秒数えられたね～」と褒めちぎることがコツです。

あなたもちょっと忙しくて子供に待つてもらいたいとき、「ちょっと待って」から「30秒数えて待つて」に変えてみませんか。いずれ成長と共に「30秒」は通用しなくなりますが、具体的にどれくらい待たなければならないかを伝えるあなたのオリジナルバージョンを試してみてください。そして、うまくいった「あなたバージョン」を世の中に伝えて、子育てが楽しい社会をつくりましょう！

一原 良一

クイズが大好きな国民

日本人はクイズが大好きな国民だそうです。確かに、TVを付ければどこのチャンネルもクイズ番組をよくやっていますね。

そんなわけで、最近私が「マジか!？」と思ったクイズを一つ。私は知りませんでした但有名らしいですね。

(①)、ティエーゴ、ホセー、フランシスコ・テ・バウラ、ホアン・ネポムセーノ、マリア・テ・ロス・レメディオス、クリスピーン、クリスピーアーノ、テ・ラ・サンテイシマ・トリニダード、ルイス・イ・(②)

(①)、(②)に入る言葉は？

「アキラNEWS」は月に1回発行していきたいと思っています。

株式会社アキラ電機

金沢市示野中町2丁目100番地

TEL (076) 223-3541 FAX (076) 223-3932

hara@osakadenki.co.jp (担当：原)

